

## 2018年度大学院授業アンケート結果概要

はじめに

本学大学院（修士課程）における授業アンケートは2005年度から開始されました。

大学院に開講されている全ての授業を対象として、春学期科目、秋学期通年科目ともに12月上旬に行い、その結果については、各研究科委員会に報告されてきました。また、この間、個別科目の回答結果の担当教員への返却、授業アンケート結果等を踏まえた授業改善報告書の作成等、大学院として教育の改善に取り組んできました。

授業アンケート結果については、従来各研究科委員会の中で報告が行われてきましたが、今回の2018年度のアンケートから、学部における授業アンケート結果と同様、IR実施委員会の下で授業アンケート結果の分析を行うこととしました。

各教員が担当する授業のアンケート結果に加えて、大学院全体としての結果を確認することによって、更なる授業改善につなげていく機会にさせていただければと考えています。

実施方法：

演習指導教員を通じて院生に設問・回答票を配布。無記名で教務課窓口設置の回収箱に提出

実施概要：

	臨床心理学	犯罪心理学	法学	経済・経営学	メディア情報学	計
在籍者数	12名	5名	2名	9名	5名	33名
履修科目数	62科目	59科目	5科目	66科目	26科目	218科目
回答科目数	54科目	59科目	5科目	25科目	25科目	168科目
回収率	87.1%	100%	100%	37.9%	96.2%	77.1%

Q1. どの研究科・専攻に所属していますか。

Q2. 何年次生ですか。

全体の回収率は77.1%と3/4ですが、経済・経営学専攻を除いた4専攻は高い回収率となっており、アンケートの信頼性を高める上でも有益なものと考えます。改めて、各先生方のご協力の賜物であると感謝申し上げます。

また、学年ごとの回収率は、1年次生77.9%（127/163）、2年次生74.5%（41/55）と差のないものとなっています。

Q3. 大学学部卒業後、就職の経験がありますか。

ありが18.5%、なしが81.5%と、学部卒業者及び外国人留学生が多数を占める、近年の大学院生における構成を反映したものとなっています。

Q 4. 主にどのような理由でこの科目を履修しましたか。

全体では1. 必修だから が45.2%、4. 知識・技能を広げるため が26.8%、2. 研究に必要なだから が18.5%と上位を占めていますが、専攻単位では回答内容に差があります。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 必修	77.8%	35.6%	20.0%	28.0%	20.0%	45.2%
2. 研究必要	11.1%	6.8%	20.0%	32.0%	48.0%	18.5%
3. 進路に資する	1.9%	6.8%	40.0%	20.0%	4.0%	7.7%
4. 知識技能	9.3%	47.5%	20.0%	16.0%	28.0%	26.8%
選択肢 5-8	0.0%	3.4%	0.0%	4.0%	0.0%	1.8%

Q 5. この科目の履修は、どのようにして決めましたか。決めるのに最も役に立ったものを1つだけ選んでください。

全体では、2. シラバスを読んで が43.5%と半分弱を占め、1. ガイダンスでの説明、3. 教員の指導が20%台となっています。心理学研究科ではガイダンスでの指導、総合政策研究科では指導教員による履修指導によるという傾向があります。なお、犯罪心理学専攻では選択肢 4-6 がそれなりの回答数がありますが、先輩に相談・その他がほぼ同数でした。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. ガイダンス	46.3%	23.7%	0.0%	0.0%	4.0%	23.8%
2. シラバス	46.3%	44.1%	0.0%	28.0%	60.0%	43.5%
3. 教員の指導	7.4%	10.2%	100.0%	64.0%	36.0%	23.8%
選択肢 4-6	0.0%	22.0%	0.0%	8.0%	0.0%	8.9%

Q 6. この科目のシラバスの記述は、履修選択や学習の準備に役に立ちましたか。

各専攻ともに肯定的な回答が80%以上を占めており、全体では92.3%が役立ったと感じていることが伺えます。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 極めて役立った	81.5%	16.9%	80.0%	88.0%	40.0%	53.6%
2. かなり	5.6%	74.6%	0.0%	12.0%	60.0%	38.7%
3. 何ともいえない	7.4%	8.5%	20.0%	0.0%	0.0%	6.0%
4. 5 役立たない	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

Q 7. この科目の目標は明確に示されていましたか。

各専攻ともに肯定的な回答が80%以上を占めており、全体では97.0%が明確と回答した。なお、4. あまり明確でなかった及び5. 何が目標なのかまったくわからなかった は0件でした。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 大変明確	87.0%	66.1%	60.0%	88.0%	56.0%	74.4%
2. かなり明確	11.1%	28.8%	20.0%	12.0%	44.0%	22.6%
3. 何ともいえない	1.9%	5.1%	20.0%	0.0%	0.0%	3.0%

Q 8. この科目の欠席回数は何回でしたか。

各専攻とも3回以内とする回答が80%以上（全体では90.5%）であった。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 0回	38.9%	49.2%	80.0%	24.0%	76.0%	47.0%
2. 1-3回	53.7%	33.9%	0.0%	76.0%	20.0%	43.5%
3. 4-7回	3.7%	10.2%	0.0%	0.0%	4.0%	5.4%

Q 9. 授業時間以外に、この科目のために一週間に平均してどれぐらい勉強しましたか？

全体を通じては、2時間以上と1時間-30分に二極化している傾向が伺えるが、授業外学習時間が少ない者も一定数存在している。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 2時間以上	44.4%	35.6%	40.0%	48.0%	20.0%	38.1%
2. 2-1時間	11.1%	33.9%	0.0%	0.0%	36.0%	20.8%
3. 1時間-30分	42.6%	20.3%	40.0%	52.0%	28.0%	33.9%
4. 30分以下	1.9%	5.1%	20.0%	0.0%	16.0%	5.4%
5. 0分	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

Q 10. テキストや配布資料などは授業を理解するうえで役に立ちましたか。

各専攻ともに肯定的な回答が90%以上を占めており、全体では96.4%が役立ったと回答した。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 極めて	57.4%	64.4%	100.0%	88.0%	56.0%	65.5%
2. かなり	40.7%	30.5%	0.0%	12.0%	36.0%	31.0%
選択肢 3-6	1.9%	5.1%	0.0%	0.0%	8.0%	3.6%

Q 11. 担当教員は意欲的に授業をおこなっていましたか。

1件（3. 何ともいえない）を除き、教員の意欲を感じたと回答しており、特に1. 極めて意欲的だった を選択した割合が高いことが特筆される。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 極めて	59.3%	88.1%	80.0%	88.0%	52.0%	73.2%
2. かなり	38.9%	11.9%	20.0%	12.0%	48.0%	26.2%
選択肢 3-5	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

**Q 1 2. この科目の進みぐあいは適切でしたか。**

各専攻ともに適切とする回答が90%以上を占めており、全体では87.5%が適切と回答した。また、経済・経営学専攻と臨床心理学では、非常に速いと回答した割合が一定数存在している。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1.非常に速い	11.1%	1.7%	0.0%	20.0%	8.0%	8.3%
2.かなり早い	1.9%	5.1%	0.0%	0.0%	4.0%	3.0%
3.適切だった	87.0%	89.8%	100.0%	80.0%	88.0%	87.5%
4.どちらかといえば遅かった	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
5.非常に遅かった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**Q 1 3. この科目の内容は理解できましたか。**

各専攻ともに理解できたとする回答が90%以上を占めており、全体では93.5%が理解できたと回答した。なお、選択肢4.5（あまり・まったく理解できなかった）を選択した回答はなかった。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1.よく理解	46.3%	39.0%	80.0%	80.0%	48.0%	50.0%
2.だいたい理解	46.3%	55.9%	20.0%	12.0%	44.0%	43.5%
3.何ともいえない	7.4%	5.1%	0.0%	8.0%	8.0%	6.5%

**Q 1 4. この科目をうけて知的満足感を得ることができましたか。**

未回答・3.何ともいえない各1件を除き、得ることができたと回答している。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1.極めて得られた	53.7%	66.1%	100.0%	88.0%	52.0%	64.3%
2.かなり得られた	42.6%	33.9%	0.0%	12.0%	48.0%	34.5%
3.何ともいえない	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

**QA. この講義について以下の選択肢で該当するものがあれば選んでください。【3つまで回答可能】**

3つまで回答可能の設問であるが、1.説明がわかりやすかった、5.講義テーマへの関心が膨らんだ、7.更なる研究への手掛かりが与えられた の3つに回答が集中した。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1.説明がわかりやすかった	43.7%	46.3%	33.3%	61.1%	36.1%	45.7%
2.説明がわかりにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3.課題はもっと多くてよかった	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%	1.7%
4.課題が多すぎた	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5.テーマへの関心が膨らんだ	30.1%	30.6%	33.3%	16.7%	25.0%	28.1%
6.テーマに関心がもてなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7.更なる研究への手掛かりが与えられた	25.2%	21.5%	0.0%	11.1%	30.6%	22.2%
8.更なる研究の手掛かりが欲しかった	1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
9.該当するものはない	0.0%	0.8%	0.0%	11.1%	0.0%	1.7%

Q B. 今後、この講義を改善していくためには、以下のどれを充実・活用していくとよいと思いますか。

【3つまで回答可能】

全体では 89.7%が、8. ない を選択した。次位は 3. 更なる研究の手掛かりの提供、2. 参考文献の指示と続いている。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. テキスト	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
2. 参考文献の指示	3.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2.7%
3. 更なる研究の手掛かりの提供	3.7%	1.9%	0.0%	16.0%	7.7%	5.5%
4. VTR・DVDなど視覚的教材	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 見学等	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.7%
6. パソコン・ネットワークの活用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. その他	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.7%
8. ない	90.7%	98.1%	0.0%	76.0%	92.3%	89.7%

まとめ

2018年度の授業アンケートについては、経済・経営学専攻で回収率が低いものの他の4専攻については、満足すべき回収率を確保できました。

各設問の回答については、取組に関する設問を中心に肯定的な回答が大多数を占めました。同時に実施をした「大学院アンケート 学業・研究全般」Q.19 全体的に本大学院での学業生活は満足がいくものかにおいても、全体で 81.5%が肯定的な回答をしており、大学院生としては、本学の授業に満足をしているのかもしれませんが。

やや気になるのは、Q9 の授業外学習時間です。回答を見ると大学院生として必要な学習時間が確保できているのか、やや不安が残る結果となっています。前述のアンケートQ13. 予復習や自主学習の程度 においては、1. 極めてと 2. かなりを合わせて熱心と回答している者が 59.2%、3. 何ともいえないが 40.7% ですが、実際に大学院生を指導している教員の実感との照合が必要かもしれません。

以上